

人間は**本能**の  
こわれた動物である

岸田 秀

ものぐさ精神分析  
中公文庫 1982年

落語私論

1

落語とは  
人間の**業**の  
肯定である

立川談志

落語私論

2

岸田 秀は、立川談志の **友人**

**本能** はこわれたが、

**業** は確かにある



例えば、嫉妬心

「人間にはこういう嫉妬心があるということを、お釈迦様も言っておられるのですが、しかしこれはお釈迦様がつくったものではありません。**宇宙根源**の力によって人間に与えられた一つの法則であります。お釈迦様はそれに気がついたのであって、それはちょうど、ニュートンが万有引力を発見したのと同じであります。」

**松下幸之助**

落語私論

3

**本能** のこわれた人間は、  
**常識** ( ⇔ **非常識** )  
というものをつくった

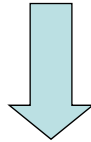
そこからはみだしたものが  
**業** である

落語私論

4

## 「みどりの窓口」の分析

**常識** の世界: みどりの窓口の職員  
**非常識** の世界: 中年女、老夫婦  
**業** の世界: 居酒屋のおやじ

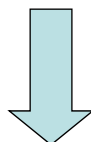


**業** の肯定(オチ)

みどりの窓口の職員が箱を空けなかったからだ

## 「厩火事」の分析

**常識** の世界: おさき、仲人、孔子  
**非常識** の世界: 麴町のさる旦那  
**業** の世界: 髪結いの亭主



**業** の肯定(オチ)

けがをされたら明日から遊んでて酒が飲めねえ